

## 1 今回の講義の内容

文脈自由文法の Pumping Lemma の証明から, 教科書 3.5 節のあと, pushdown automaton (PDA) について

### レポート課題 (復習問題)

なし!

## 2 次回の講義の内容

2017.1.6 (Fri) PDA の続き, 教科書第 4 章 (Turing machine)

### 今後の講義予定

- 2017.1.12 (\*Thu\*) 教科書第 4 章 (Turing machine) と, 質問セッション
- 2017.1.20 補講期間 (補講は\*\*ひよつとしたらやるかも\*\*)
- 2017.2.3 (Fri) 期末試験予定

### レポート課題 (予習問題)

なし!

## 3 期末試験について

2017.2.3 (Fri), 14:55-16:40.

過去問を勉強してくるとよいです (教科書の巻末). 要チェックポイント:

- 「アルゴリズムを与えよ」と言われたら, 教科書のアルゴリズム 2.1 (p. 53) のような擬似コード (あるいは一般的なプログラミング言語でのコード) を与えられればいちばん良い。「こうやってこうやって」という自然言語での説明でもまあ良い。  
ただ, そのアルゴリズム (= 「手順」) は, 何も考えずに実行できるものでなければいけない。
  - 「NFA  $M$  が語  $w$  を受理するか判定する」というのはアルゴリズムとは言いがたい。(分岐したときどうする?)
- 「これこれの DFA を与えよ」というふうな問題は, 必ず「最小の DFA を与えよ」という形で出題します。
  - なので, アルゴリズム 2.1 (p. 53) を使えるようになっていないとダメ。

## 4 追試について

- 期末試験の結果単位がとれそうにない人には、追試を行います。
- 追試の日程・場所: 今日相談して決めます。場所は理学部7号館(本郷)予定。(講義のウェブページ確認のこと)
- 問題は簡単で、基本がしっかりできているか見ます。なので、かなりの部分できないと単位はきびしい(8割が目安)。
- 希望者に対しては、試験後できるだけ早く講義のウェブページに「いい感じの番号」を掲示します。そこに番号がなかったら、追試当日の予定は入れないほうがいいかもしれません。